

黒部を未来へつなぐ



< ご挨拶 >

皆さん、こんにちは。

日頃より、私の活動に対しまして、ご支援ご協力いただき感謝いたします。お陰様を持ちまして議員3期目の議員として議会、そして日々の議員活動をしっかり取り組まさせていただいております。

世の中は、コロナ禍前に戻ってきており、中止・延期をしていた「集まって行う行事・イベント等」が開催されるようになってきました。また、デジタルや脱炭素社会を目指す今までとは全く新しい社会になったといっても過言ではないくらいに大きく変化いたしました。挑戦し続けている地域と何もしない地域では、人々の生活が大きく差がついてくると想像します。黒部市が変化に対応する地域となって、チャレンジを恐れず時代に合った取り組みを進めていって欲しいと願っています。

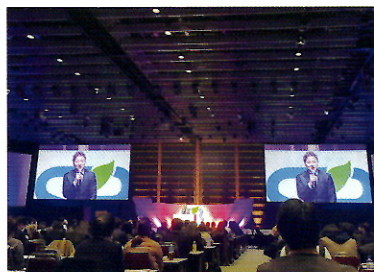
そのためには、私たち議員も日々研鑽を重ね、幸せに暮らせる黒部市を目指し、よりよい提案が出来るように努力していかなければいけないと思っています。

黒部を未来につなぐ 成川まさゆき

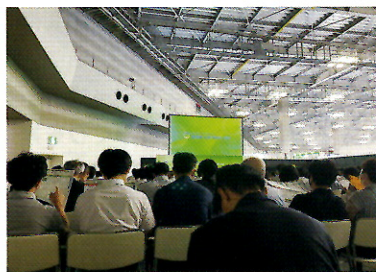


議会中継

まさゆき KENBUNROKU MANABINOJIKAN 見聞録「学びの時間」



2023年2月14,15日
東京・サステナブルブランド会議 2023



2023年6月28日
東京・自治体公共 week



2023年7月6日
秋田県五城目町・BABAME BASE



2023年7月7・8日
地方創生実践塾 in 紫波

なりかわ 黒部を未来へつなぐ 成川まさゆき

黒部市議会議員
facebookで活動公開中!



【R4年3月定例会 会派代表質問】

1. 令和5年度予算編成基本方針について

問：本市のエネルギー自給率を上げる取り組みを

答：市内の、5つの小水力発電所は、積極的な導入の成果。更なる取組として、黒西合口用水下流域で、新たな小水力発電所の可能性調査を実施する。

なお、令和5年度から脱炭素化に向けた具体的な取組計画策定に着手し、再生可能エネルギー導入目標等を設定する。

問：中心市街地に花と緑を増やしていく考えは

答：中心市街地へ「出かけやすい、出かけて楽しいまちづくり」を目指す上で、有用であり、今後、地域との協議を踏まえ、必要な整備を行っていく。さらには、中長期的に、財政状況が許せば、「緑豊かな憩いの場」の形成についても検討する。



問：相続登記の申請の義務化について

答：民法等の一部を改正する法律により、相続によって不動産を取得した相続人は、その取得を知った日から3年以内に相続登記の申請をすることが義務付けられ、令和6年4月1日施行される。

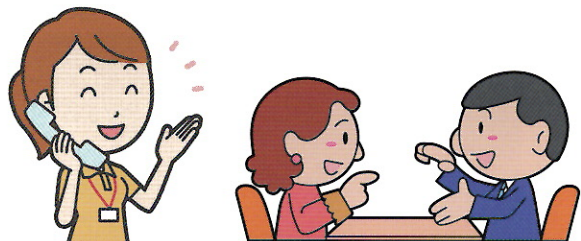
また、令和6年4月以前の過去の相続も義務化の対象となり、この場合は令和6年4月1日から3年以内に申請をする必要が生じる。

今回の義務化については、所有者不明の土地の発生を予防する観点から、様々な機会をとらえて広く市民に周知したい。



問：公共交通を考えるシンポジウムの開催について

答：黒部市未来会議などを通じて、「公共交通」、「暮らしの足」について、意見を頂いたところであるが今後は、移動の問題にテーマを絞った形での開催も行って、市民の意見を聞きたい。



問：おとなの相談も含めた重層的な相談支援体制の構築

答：子どもや家庭に関する相談は、広範囲にわたることから、一元的に相談できる体制を整備することとし、おとなも含め、全ての相談について受けたい。

また、相談のしやすい体制については、未来会議等でも提案されており、福祉全般に係る相談について、より市民にとって相談しやすい体制になっているか、検証、検討を行う。

問：「共創・協働のまちづくり」について、「フォーラム等を開催してはどうか。」

答：住民参加型のまちづくりを進めるために、先ずは、未来会議やマイプロジェクト発表会を継続して開催し、協働のまちづくりの機運を高めながら議論を活発化していきたい。

今後、市民全体と共有すべき課題等が出てきた場合には、フォーラム開催という方法についても検討する。

問：公民連携専門デスクの設置について

答：本市においては、企画情報課が公募提案型協働事業として市政課題の解決や市民生活の充実につながる提案を募っているほか、黒部市未来会議やマイプロジェクト発表会を通じ、市民と行政が一体となってまちづくりを推進している。公民連携が更に進むよう、組織体制、相談窓口などについて検討する。



皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください

後援会
連絡先

成川正幸（なりかわ まさゆき） TEL (0765)57-1189
黒部市植木 107-7 FAX(0765)57-1189
携帯 090-1317-7155 Mail : masa.narikawa@gmail.com

ホームページ



【6月定例会 会派代表質問】

1. アフターコロナの 中心市街地活性化策について

問：中心市街地における公共交通について

答：移動手段を持たない高齢者の方などにとっては、中心市街地内での買い物や通院といった日常的な移動に対して、よりきめ細かな移動手段の整備が必要と考えている。

今後は、バス路線の見直しや、中心市街地に電動小型カート運行導入の検討を進め、「出かけやすい、出かけて楽しい街づくり」を目指していきたい。

クセス数は年間2万2千件で全体の約3%程度であり、インバウンド向けサービスまでには至っていない。

訪日外国人旅行者には、「地元の人々との交流」への目的意識が高いといわれる中で、黒部で活躍する人の魅力を発信することで、「人」に会うための観光等を強化していく。

問：市営新幹線駅駐車場の利用状況と今後の在り方について

答：第1駐車場以外無料を前面に出し、同駅の利用促進に大きな効果をもたらしてきたが、無料であるがゆえに、目的外駐車や長期駐車が散見されるようになり、議会での議論を踏まえ、適正な

労働力不足に拍車をかけている。このため本市としては、進学等で首都圏等に流出した若い世代を呼び戻す流れをつくるため、黒部の企業の魅力を再発見してもらえるようなコンテンツを掲載した就職定住パンフレット及びWEBサイト「KUROBEST WORK」を構築し、随時内容の充実と情報発信に努めている。

併せて、市内企業の人材確保・定着に向けて、就職定住促進事業などを実施。その他、実践型インターンシップ事業を開始したほか、今年度からはさらに、専門的知識を有する複業人材の活用も促進し、市内企業に対する人材確保、定着に対する支援に取り組んでいる。

よう努める。



5. 漁業振興策

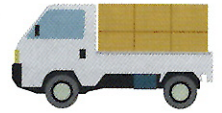
問：黒部市の漁業振興策について

答：水産業を取り巻く課題に対して近年、くろべ漁業協同組合では、卸売業務の統一による生産性向上、また長野県への販路拡大やインターネット販売等による売上の向上に取り組み、市としても、販路拡大・情報発信等に対する支援や、漁船の燃料や出荷資材に対して支援してきた。

2. 移住定住・関係人口施策について

問：お試し移住や移住後の特典の検討について

答：移住のみに特化するのではなく、幅広く黒部に接点を持ちたい方に対象を広げ、様々な観点から評価を加えて前向きに検討していく。



3. 観光振興策について

問：訪日外国人旅行者を呼び込むための情報発信について

答：現在、市のHPが5言語対応となっているが、外国からのア

駐車場管理を行うため、令和4年4月に第2駐車場を有料化し、本年4月には、第3駐車場を有料化した。

今後については、引き続き、各駐車場の利用状況を注視していくとともに、満車により駐車場が利用できないということが発生しないよう、適切な管理運営に努めていく。

4. 市内の労働力不足

問：市内企業の人材確保・定着に向けた支援について

答：少子化、人口減少に最近では職業科高校生の進学率の増加が

問：産地間及び職種間人材リレーについて

答：繁忙期と閑散期が入れ替わる宿泊業や農林水産業などにも活用することができないか、関係団体・機関等と意見交換の上、ニーズの把握やマッチングの調整に努める。

問：趣味をきっかけにした移住定住アプローチについて

答：趣味を楽しむために黒部を訪れた方に、将来の移住・定住に繋がる関係人口拡大に向けた取組を推進するとともに、「趣味を楽しむために黒部に住み、黒部で仕事に就く」というライフスタイルを積極的に提案することで、市内企業の人材確保の一助となる

今年度、「漁業担い手確保・育成事業」は、宮城県石巻市の一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンの伴走支援を得ながら取り組んでいこうとするもの。

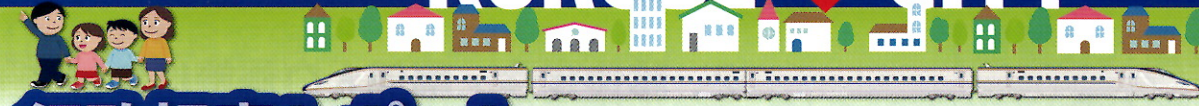


なりかわ 黒部を未来へつなく
成川まさゆき



facebookで
活動公開中!





行政視察レポート

桑名市 伊藤市長に「公民連携で地域を活性化！」について伺ってきました。R5.2.15

桑名市が明かす公民連携の成功の鍵

< 行政改革 >

経常収支比率は、行政の財政硬直性を示し、新しい事に投資できるかできないか、経常収支で新しい事が取り組めるのかが分かる。

シンプルな行政改革は絞って削るみたいなイメージがあり、それだけやっていると市民の満足度が下がってくる。**行財政改革をしても、市民満足度が下がらず、むしろ上がる方法として、桑名市は公民連携ワンストップ対応窓口を持っています。**



< どんな提案でも受け付けますよ >

マッチングアプリやってますか？日本で初めて登録数2千万人のマッチングアプリ「ペアーズ」と桑名市が連携協定を結んで、一緒に出会い対策というか未婚化対策に取り組んでいます。

民間とか、個人以外のNPOとか自治会とか誰でも良いんです。色々な人が提案を行政に持ち込みますが、とにかくトライ回しにされます。結局、提案者も腹を立て、カタチにもならない。そういう事がおそらくほとんどの自治体で起こっていて、全ての提案を排除しているような自治体はかなり多いなと思っています。その点、桑名市は、良い提案も悪い提案も一回全部受けています。

提案が来ているのが200件、実際にカタチになったのが64件で32%やれたんです。



< 公民連携上手<いかにない五か条>

- その1. 縦割り行政
- その2. 職員の知識・経験不足
- その3. 利用者や住民との合意形成の不足
- その4. 行政と民間の対話が不十分
- その5. 民間がリスクをとらない

最後に

反対が多いほど大きな成果に繋がるというのは、この10年間やってきて思っています。

皆さんには、公民連携は是非、温かい目で見守っていただき、素直に素晴らしいと言っただけで、それがどんどんどんどん大きな輪に繋がっていくのかなと思います。

なりかわ 黒部を未来へつなく
成川まさゆき



成川まさゆきの情報発信

- stand.fm**
黒部市の今や議員活動、地域づくり活動など日々の活動を毎日音声配信しています。
- facebook**
日々の活動記録を配信しています。
- twitter**
主に stand.fm を配信
- Instagram**
たまに犬と花の写真

「なりかわチャンネル」

QRコード

私の声を聴いてください

皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください！

